

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス エンジョイ		令和7年 1月 30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		限られたスペースで利用者の安全面を確保する。 適切である 3つの部屋があります。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		適時適格に子供に施設を利用してもらう。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		緊急時に迅速に責任者に情報伝達を実施する。 玄関や部屋の間に小さな段差がありますが、手すりの設置など、可能な範囲でバリアフリー環境が設定されています。 階段の手すりや 段差のないトイレなどバリアフリーになるよう環境配慮している 玄関に手すりが設置されています。 トイレや玄関上り框、外階段の手すり設置 バリアフリーではありませんが手すりなどを付けさせていただいております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		送迎業務をしている為清潔な車環境を提供。 定期的な清掃整備をしている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		クールダウンのための部屋を確保している	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12		業務改善について日々の朝礼、終礼やミーティングで話し合いを行っています。 各業務に関して定期的に話し合いをしようしたら効果的に進められるか意見交換をしている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		保護者会を開催している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12		第三者評価をしている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		安全講習を実施実践している 研修や事業所内での資料の読み込み、共有を行っています。 研修に定期的に参加している	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		支援計画に基づいて療育を行っている 取り組んでいます。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		子どものニーズや保護者様の意見をお聞きした上で個別支援計画を作成している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		一般の指導員も作成に携わっている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		ミーティングで共有をし計画に沿った支援をしている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		日報やアセスメントを用いてその都度確認している	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		計画にすべて設定してある	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		利用者への支援や活動提示についてミーティングなどで共有されています。 活動立案は指導員間で話し合いを行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		前年度など以前行った活動の記録を参照して固定化にならないよう工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12		モニタリングなどで子どもの今の状況を把握し個別または集団で活動ができるよう計画を作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		朝礼昼礼を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		終礼での打ち合わせにて共有を行っています。 終礼で振り返り共有を行っている 終礼の実施	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12		記録をとり次の支援につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		定期的なモニタリングを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	12		自立支援と日常生活の充実のための活動 創作活動 地域交流の機会の提供 余暇の提供 を組み合わせ 活動の設定をしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12		利用者への活動提示の際、複数の選択肢を与えることで自己決定を促しています。 自己決定ができるような活動内容の設定や声かけをしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12		児発管や施設長など、子どもの状況を理解したものが参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		保護者様や学校、医療機関など、いつでも連携ができる体制を整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12		学校より引き続き事項を確実に実施。 支援会議や送迎時でのやりとりなどその都度連携を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12		公園活動や散歩、季節行事などで地域交流を行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12		会社の本部の方々に参加されていると聞いている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		送迎時や面談時にその日あったことを伝えたり、最近の困りについて聞き取りを行っています。 面談や送迎時など機会を設けている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12		会社として保護者が参加できる研修がある エンジョイでの取り組みで、お子さんの様子や反応などをお伝えしている	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		契約時などに説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		送迎時や面談時に保護者様の細かな意向を聞き取り、事業所内で共有しています。面談や送迎時など機会を設けてお聞きしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12		面談を設定し計画の説明をしている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		送迎時、面談時に意向を聞き取り、事業所内にて共有、必要な支援について話し合いを行っています。面談を設定し、悩んでいることや困っていることなどをお聞きしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	12		年二回、実施しています。保護者会を開催している保護者会の実施	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		苦情などがあった際はその都度意見をお聞きして対応に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12		毎月のお便り配布、毎週の活動記録、週1回～程度の定期的なSNS更新を行っています。活動記録やInstagramなどを用いて情報発信をしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		毎月チェックシートを用いて個人情報の取り扱いについて注意している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		保護者や子どもに合わせた意見交換の方法、やり取りの方法を考えて行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	11	招待はしていませんが、近所のご自宅へお伺いはしています。イベント行事で近所の方と関わる機会を持つなどしている エンジョイグループとしてエンジョイ祭りの開催 ハロウィンで地域の住民の方々や企業様への訪問 定期的地域清掃 地域の企業さまより教材用の材料の提供などなど	今後とも、地域施設の利用や交流を通して地域の方々と関わっていくことができる事業所の運営を図っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		緊急災害伝言ダイヤルのマニュアル作成。毎月の災害伝言ダイヤル活用、運行管理についての月間目標の設定を行っています。避難訓練や防災ダイヤルなど、災害を想定した取り組みを行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		年に3回程度、利用者との防災訓練にて避難経路や避難場所について確認を行っています。定期的に避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12		個々での個別資料の読み込み、申し送りノートにて周知を行っています。保護者からの聞き取りを行い確認をしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	4	現在、食物アレルギーのある利用者の利用はありません。食物アレルギーの子どもがいません。現在食物アレルギーに関して医師の指示書がある児童がいない 該当児童がいません 現在、食物アレルギーのある利用者様のご利用はありません。対象児童がいません	現在対象のご利用者様がおられないため対応を行っていませんが、今後食物アレルギーのご利用者様がみえた際には、医師の指示書に基づき対応を行っていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		計画を作成、交通安全や衛生管理、危機管理研修などに参加している	
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12		利用者帰宅時の引き継ぎ実施。		

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		ヒヤリハットの作成、再発防止のための話し合いを行っています。 ヒヤリハットを作成し再発防止に努めている	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		適切な支援のため、療育中でもスタッフ間で指示や訂正を行っています。 虐待チェックシートを月一回行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12		計画や記載した上で保護者に説明を行っている	